

東和地域支援室通信

令和5年2月号

東和総合支所地域振興課地域支援室：東和町土沢8区60 電話 41-6514(直通)

第2回東和女性学級

「コラージュ創作でストレス解消 リフレッシュ・セラピー」を開催しました

1月17日(火)東和総合支所にて、生涯学習講師でセラピストの菊池みよ子先生をお招きして標記講座を開催しました。好きな色の台紙を選び、新聞記事や雑誌を切り抜いて貼り付けていきました。出来上がった作品は心の中を表しているそうです。

先生に自分の作品を分析していただくことで、日ごろ自分では気付くことのできない気持ちに気付く機会になりました。参加された方々からは「切ったものに気持ちが表れていてびっくりした」「ストレスが解消できた」「気持ちが穏やかになった」などの感想が聞かれました。



東和の生き物12か月

野鳥(サシバ)の研究で修士課程を修了した地域支援室 糸川拓真主査が東和地域で観察できる生き物について解説します。

2月 サギ(東和の水辺で親しまれる縁起の良い鳥)

東和の町も寒さの厳しい日々が続きますが、水辺では、様々な鳥の姿を目にすることができます。今回は身近で縁起の良い水鳥である鷺の紹介をさせていただきます。

(1) 白鷺(シロサギ)

まずは、古くから幸運を呼ぶ縁起の良い鳥として親しまれている「白鷺」についてです。白鷺は、日本などで古くから神の使いとされることもあり、栃木県等には白鷺神社という神社もあるほどです。東和の町には、主に夏鳥として繁殖のために訪れます。車などで田んぼ沿いを走っていると採食している彼らの姿を見かける人も多いと思います。肉食性で、田畑に生息するトカゲやカエル(オタマジャクシ含)、魚や昆虫を長くちばしで巧みに捕食します。

さて、白鷺は一般的に呼ばれている通称で、東和に生息する白鷺は主に3種類います。3種類とも真っ白な体で、繁殖期のクチバシは黒く姿形が酷似しており、大きな違いは大きさのみとなっております。それぞれダイサギ(体長約90cm)、チュウサギ(体長約70cm)、コサギ(体長約60cm)と概ね一回りずつ異なる大きさをしております。水辺にのんびりたたずんでいる姿は良く見かけるのですが、私も正直、どのサギかすぐに判別が付きません。

(2) アオサギ

続きましては、こちら東和では一般的な水鳥であるアオサギの紹介をいたします。アオサギは、頭は青灰色、背中にかけて薄い灰色の羽毛をしています。大きさは、約90cm前後でダイサギと同じくらいか少し大きい大型の鳥となります。白鷺と一緒にいる時には、白鷺の識別をするのに役に立つかもしれません。寒い季節には、

暖かい場所に移動することもあります。基本的に留鳥として同じ場所で冬を越します。

アオサギも白鷺と同様、肉食性で、田んぼなどにいる様々な動物を捕食します。養殖魚を捕食することもあるため、一部地域では害鳥扱いされることもあります。そんなアオサギも、古代エジプトでは「ベヌウ」または「ベンヌ」という不死鳥として崇められており、壁画に描かれたり有名な鳥フェニックスのモデルになったとも言われております。

東和町では、基本的に鷺の繁殖を見ることがありますが、集団営巣地(コロニー)を作るのも彼らの大きな特徴で、松の木などに集団で巣を作り子育てします。以前、東和町にある木の上によきによきと鷺が生えていた光景をみた時は大変驚いた記憶があります。

古くから人の生業に密接に関わっており、とてもポピュラーでありながら、縁起の良い存在としても親しまれた鷺たち。今年もいたる所で見ることができると思うので、識別も含めその姿を楽しんでみてはいかがでしょうか。



絵：地域支援室伊藤

